

# 「電働ノ機」コンセプトご紹介ペーパー



## 電働ノ機

デンドウノハタラキ

産業の数だけ挑戦ができる  
技術の数だけロマンがある



次の社会をつくる仲間を、電機業界で

日本電機工業会は、電機業界に就職する若者を応援します

## 登場人物の紹介



主人公。大卒1年目の新人。電気工作オタクでいろんなものを自作している。意欲とチャレンジ精神いっぱい。

登場シーン：AI編・重電編



社会人4年目。主人公から見て少し先の未来にあたる人物。家電のプロトタイピングエンジニアで、回路だけでなく「人の感情」まで考えて設計したいタイプ。

登場シーン：AI編・家電編



みんなの頼れる・憧れのリーダー。元原発プラントの設計技術者で、現在は技術リーダーとして原子力発電技術に関わる。

登場シーン：AI編・原子力編



AIの知能は電機が支える  
AIの未来は電機が広げる

## AI編の紹介

AI社会は電機業界の技術によって支えられていることをアピールするため、「AIの知能は電機が支える AIの未来は電機が広げる」というコピーのもと、挑戦を感じさせるポーズや疾走感のある構図を採用しました。登場人物たちがそれぞれの仕事に全力で取り組む姿を通じて、前向きで活気ある業界として表現しています。



## 重電編の紹介

主人公の少年が「巨大な鉄塊が精密機械として息をしている——それが重電なんだ」というコピーのもと、巨大なプラント機器を見上げる姿を描くことで、「重電」という巨大なものづくりへの挑戦や、社会インフラを担うことのやりがいを表現しました。

「巨大な鉄塊が **重電編**  
精密機械として息をしている  
——それが重電なんだ」



次の社会をつくる仲間を、電機業界で  
日本電機工業会は、電機業界に就職する若者を応援します



## 家電編の紹介

家電の設計デザイナーをイメージし、「暮らしが一步進むたび その裏には必ず電機がある」というコピーのもと、人々の生活を便利で快適にするため、新しい価値を生み出す家電づくりの楽しさや、やりがいを表現しました。

「暮らしが一步進むたび  
その裏に必ず電機がある」

家電編



次の社会をつくる仲間を、電機業界で  
日本電機工業会は、電機業界に就職する若者を応援します



## 原子力編の紹介

「守りたいのは設備じゃない そこに住む  
“人の生活だ”」というコピーのもと、街並みを  
背景に、原子力のこれからのあり方や、実現  
したい未来を見据える姿を描きました。

原子力編 「守りたいのは設備じゃない  
そこに住む“人の生活”だ」



次の社会をつくる仲間を、電機業界で  
日本電機工業会は、電機業界に就職する若者を応援します

